

Anan College						Liberal Arts and Sciences								Year				2013									
Department Goals																											
Course Category		Course Title	Course Code	Credit Type	Credits	Class Hours per Week																Instructor	Division in Learning				
						1st Year				2nd Year				3rd Year				4th Year						5th Year			
						1st		2nd		1st		2nd		1st		2nd		1st		2nd				1st		2nd	
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			1Q	2Q	3Q	4Q
General	Compulsory	基礎数学 1	0000	School Credit	4	4 4																Tagami Takao					
General	Compulsory	数学A	0001	School Credit	2	2 2																Tagami Takao					
General	Compulsory	英語 1	0002	School Credit	2	2 2																Tanaka Toshihiro					
General	Elective	保健	0003	School Credit	1	2																					
General	Elective	体育	0004	School Credit	2	2 2																Arai Osamu					
General	Elective	美術・デザイン	0005	School Credit	2	2 2																Koduki Kayo					
General	Compulsory	日本語総合	0006	School Credit	2	2 2																Nishikori Hirofumi					
General	Compulsory	倫理	0007	School Credit	2	2 2																Fujii Taketo					
General	Compulsory	理科総合	0008	School Credit	4	4 4																Hirayama Motoi					
General	Compulsory	英語A	0009	School Credit	2	2 2																Fujii Hiromi					

Anan College		Year	2013		Course Title	基礎数学 1
Course Information						
Course Code	0000			Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 4	
Department	Liberal Arts and Sciences			Student Grade	1st	
Term	Year-round			Classes per Week	4	
Textbook and/or Teaching Materials	「高等学校 数学Ⅰ、数学Ⅱ」（数研出版） / 「新課程チャート式基礎と演習 数学Ⅰ + A、Ⅱ + B」、「はぎ取り式練習ドリル 数学Ⅰ、数学Ⅱ」（数研出版）					
Instructor	Tagami Takanori					
Course Objectives						
1. 多項式の基本的な計算ができる。 2. 2次関数について理解し、具体的な事象の考察や2次不等式を解くことなどに活用できる。 3. 三角比の意味について理解し、具体的な事象の考察に活用できる。 4. 三角関数について理解し、その計算ができる。						
Rubric						
		Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level
Achievement 1		和や積の組み合わせを工夫して、式の展開や因数分解を行うことができる。		多項式の基本的な計算ができる。		多項式の基本的な計算ができない。
Achievement 2		具体的な事象に対し、2次方程式や2次不等式を用いて、問題を解決することができる。		2次関数について理解し、2次方程式や2次不等式を解くことができる。		基本的な2次方程式や2次不等式を解くことができない。
Achievement 3		具体的な事象に対し、三角比および正弦定理・余弦定理を用いて、問題を解決することができる。		三角比の意味について理解し、基本的な三角比および正弦定理・余弦定理を用いた計算ができる。		基本的な三角比を求めることができない。
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline		数学は工業高専において根幹となる科目である。基礎数学1では、方程式と不等式、2次関数、図形と計量及び三角関数について基礎的な知識と技能を習得する。また、それらを的確に活用する能力を養い、数学的な見方や考え方を身に付ける。				
Style						
Notice		1. 授業に集中し、効率的に学習する方法を確立する。 2. 数学力の定着には、日々の予習復習が必要不可欠である。積極的に取り組むこと。 3. 定期試験と数学実力試験は同等に扱う。また提出物および小テストの状況も重視される。 4. 提出物の期限は厳守すること。				
Course Plan						
			Theme		Goals	
1st Semester r	1st Quarter	1st	基礎学力試験			
		2nd	方程式と不等式		整式の加法、減法、乗法ができる。	
		3rd	方程式と不等式		整式の加法、減法、乗法ができる。	
		4th	方程式と不等式		因数分解ができる。	
		5th	方程式と不等式		因数分解ができる。	
		6th	方程式と不等式		根号を含む計算ができる。	
		7th	方程式と不等式		根号を含む計算ができる。	
		8th	方程式と不等式		1次不等式を解くことができる。	
	2nd Quarter	9th	前期中間試験			
		10th	2次関数		2次関数の最大・最小を求めることができる。	
		11th	2次関数		2次関数の最大・最小を求めることができる。	
		12th	2次関数		2次方程式を解くことができる。	
		13th	2次関数		2次方程式を解くことができる。	
		14th	2次関数		2次不等式を解くことができる。	
		15th	2次関数		2次不等式を解くことができる。	
		16th				
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	図形と計量		正弦・余弦・正接およびその相互関係を理解している。	
		2nd	図形と計量		正弦・余弦・正接およびその相互関係を理解している。	
		3rd	図形と計量		正弦・余弦・正接およびその相互関係を理解している。	
		4th	図形と計量		正弦定理・余弦定理を理解している。	
		5th	図形と計量		正弦定理・余弦定理を理解している。	
		6th	図形と計量		正弦定理・余弦定理を理解している。	
		7th	図形と計量		三角比を用いて三角形の面積を求めることができる。	
		8th	図形と計量		三角比を用いて三角形の面積を求めることができる。	
	4th Quarter	9th	後期中間試験			
		10th	三角関数		弧度法および一般角の三角関数について理解している。	

		11th	三角関数	弧度法および一般角の三角関数について理解している。
		12th	三角関数	三角関数の性質とグラフについて理解している。
		13th	三角関数	三角関数の性質とグラフについて理解している。
		14th	三角関数	加法定理を理解している。
		15th	三角関数	加法定理を理解している。
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)							
----------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	90	0	0	0	10	0	100
Basic Proficiency	90	0	0	0	10	0	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2013		Course Title	数学A
Course Information						
Course Code	0001			Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences			Student Grade	1st	
Term	Year-round			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	「高等学校 数学A、数学Ⅰ、数学Ⅱ」（数研出版） / 「新課程チャート式基礎と演習 数学Ⅰ + A、Ⅱ + B」、「はぎ取り式練習ドリル 数学A、Ⅰ、Ⅱ」（数研出版）					
Instructor	Tagami Takanori					
Course Objectives						
1. 場合の数を、順列や組み合わせと関連して理解し整理できる。 2. 確率を集合との関係でとらえて計算できる。 3. 指数関数及び対数関数について理解し、その計算ができる。 4. 命題という概念を理解し、命題の真偽が判定できる。						
Rubric						
	Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1	場合の数、順列や組合せのやや複雑な計算ができる。		場合の数、順列や組合せの基本的な計算ができる。		場合の数、順列や組合せの計算ができる。	
Achievement 2	具体的な事象に対し、確率を集合との関係で理解することができ、やや複雑な計算ができる。		確率を集合との関係で理解することができ、基本的な計算ができる。		確率を集合との関係で理解することができない。または、基本的な計算ができない。	
Achievement 3	指数関数及び対数関数について理解し、やや複雑な計算ができる。		指数関数及び対数関数について理解し、その基本的な計算ができる。		指数関数及び対数関数について理解できない。または、基本的な計算ができない。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	数学は工業高専において根幹となる科目である。集合や命題の学習を通して論理的な思考を身につけ、場合の数や確率を通して、日常の中に現れる数学を学ぶ。また、指数関数・対数関数について学び、事象を数学的に考察し処理する能力とそれらを活用する態度を育てる。					
Style						
Notice	1. 授業に集中し、効率的に学習する方法を確立すること。 2. 数学力の定着には、日々の予習復習が必要不可欠である。積極的に取り組むこと。 3. 定期試験と数学実力試験は同等に扱う。また提出物および小テストの状況も重視される。 4. 提出物の期限は厳守すること。					
Course Plan						
			Theme		Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	集合		集合について理解している。	
		2nd	集合		補集合とド・モルガンの法則を理解している。	
		3rd	場合の数と確率		集合の要素と個数を理解している。	
		4th	場合の数と確率		集合の要素と個数を理解している。	
		5th	場合の数と確率		順列の計算ができる。	
		6th	場合の数と確率		順列の計算ができる。	
		7th	場合の数と確率		組合せの計算ができる。	
		8th	前期中間試験			
	2nd Quarter	9th	場合の数と確率		組合せの計算ができる。	
		10th	場合の数と確率		確率の基本性質を理解している。	
		11th	場合の数と確率		確率の基本性質を理解している。	
		12th	場合の数と確率		独立な試行の確率を求めることができる。	
		13th	場合の数と確率		独立な試行の確率を求めることができる。	
		14th	場合の数と確率		反復試行の確率を求めることができる。	
		15th	場合の数と確率		反復試行の確率を求めることができる。	
		16th				
2nd Semester	3rd Quarter	1st	指数関数・対数関数		指数法則を理解している。	
		2nd	指数関数・対数関数		累乗根の計算ができる。	
		3rd	指数関数・対数関数		累乗根の計算ができる。	
		4th	指数関数・対数関数		指数の拡張に関する計算ができる。	
		5th	指数関数・対数関数		指数の拡張に関する計算ができる。	
		6th	指数関数・対数関数		指数関数とそのグラフの関係を理解している。	
		7th	指数関数・対数関数		指数関数とそのグラフの関係を理解している。	
		8th	後期中間試験			
	4th Quarter	9th	指数関数・対数関数		対数とその性質を理解している。	
		10th	指数関数・対数関数		対数とその性質を理解している。	
		11th	指数関数・対数関数		対数関数とそのグラフの関係を理解している。	
		12th	指数関数・対数関数		対数関数とそのグラフの関係を理解している。	
		13th	論証		命題と条件について理解している。	
		14th	論証		論証について理解している。	

		15th	論証		論証について理解している。		
		16th					
Evaluation Method and Weight (%)							
	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	90	0	0	0	10	0	100
Basic Proficiency	90	0	0	0	10	0	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2013		Course Title	英語 1
Course Information						
Course Code	0002			Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences			Student Grade	1st	
Term	Year-round			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	POLESTAR English Communication I, 数研出版, 同準処ナビゲーションノート, ワークブック Standard フェイバリット英単語・熟語<テーマ別>コーパス 3000, 東京書籍/英語Aの文法参考書					
Instructor	Taninaka Toshihiro					
Course Objectives						
1. 予習復習を含む着実な英語の学習習慣を身に付ける。 2. 教科書の読み物を, 100語~200語のパートごとに, 重要語句と重要文法事項を意識しながら正確に理解できる。 3. 教科書の読み物をややゆっくりめの音声に合わせて英語らしい発音でシャドウイングできる。 4. 教科書の読み物で学習した重要語句と語彙集を用いながら, 数文の平易な英文で自分の意見を書ける。 5. 教科書で学習した題材について, 学習した語彙を用いながら, 数文の平易な英文で自分の意見を書ける。						
Rubric						
	Ideal Level			Standard Level		Unacceptable Level
Achievement 1	予習復習に加え, 自分なりの目標も決めて英語学習を着実に進める習慣が身に付いている。			予習復習中心に着実な英語の学習習慣が身に付いている。		英語学習は予習復習も十分にできなかった。
Achievement 2	教科書の読み物の英文で学んだ重要語句・重要文法事項を他の英文の理解にも応用できる。			教科書の読み物の英文を, パートごとに重要語句・重要文法事項を含めほぼ理解できた。		教科書の読み物の英文について, 理解できないところが多く残っている。
Achievement 3	教科書の読物をややゆっくりめのスピードの音声に合わせ十分英語らしい発音でシャドウイングできる。			教科書の読み物をややゆっくりめの音声に合わせ英語として通じるレベルの発音でシャドウイングできる。		教科書の読み物をややゆっくりめのスピードでもシャドウイングできない。
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	教科書に収録されているさまざまな題材の読み物の読解演習を通して, 正確な読解力と重要語句や重要文法事項を習得する。同時に, 教科書の音読を通して英語の正確な発音と自然なリズムを身に付ける。さらに, 学習した題材について, 習得した語彙も用いながら自分の意見を平易な英文で書く練習を通して, 英作文力を高める。					
Style						
Notice	1. 授業には必ず英和辞典(電子辞書可)を持参すること。 2. オリエンテーションで支持するやり方で, 十分予習復習と語彙学習を行うこと。 3. 特別課題として, 長期休暇中の宿題を課します。 4. 積極的に英語の資格, 数文の平易な英文で自分の意見を書ける。					
Course Plan						
			Theme		Goals	
1st Semester r	1st Quarter	1st	オリエンテーション		学習方法についての理解	
		2nd	Lesson1~Lesson3		到達目標の1~5について, 全Lessonを題材に学習します。	
		3rd	Lesson1~Lesson3		到達目標の1~5について, 全Lessonを題材に学習します。	
		4th	Lesson1~Lesson3		到達目標の1~5について, 全Lessonを題材に学習します。	
		5th	Lesson1~Lesson3		到達目標の1~5について, 全Lessonを題材に学習します。	
		6th	Lesson1~Lesson3		到達目標の1~5について, 全Lessonを題材に学習します。	
		7th	Lesson1~Lesson3		到達目標の1~5について, 全Lessonを題材に学習します。	
		8th	[前期中間試験]			
	2nd Quarter	9th	Lesson3~Lesson5		到達目標の1~5について, 全Lessonを題材に学習します。	
		10th	Lesson3~Lesson5		到達目標の1~5について, 全Lessonを題材に学習します。	
		11th	Lesson3~Lesson5		到達目標の1~5について, 全Lessonを題材に学習します。	
		12th	Lesson3~Lesson5		到達目標の1~5について, 全Lessonを題材に学習します。	
		13th	Lesson3~Lesson5		到達目標の1~5について, 全Lessonを題材に学習します。	
		14th	Lesson3~Lesson5		到達目標の1~5について, 全Lessonを題材に学習します。	
		15th	[前期末試験]			
		16th				
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	Lesson6~Lesson8		到達目標の1~5について, 全Lessonを題材に学習します。	
		2nd	Lesson6~Lesson8		到達目標の1~5について, 全Lessonを題材に学習します。	

		3rd	Lesson6~Lesson8	到達目標の1~5について、全Lessonを題材に学習します。
		4th	Lesson6~Lesson8	到達目標の1~5について、全Lessonを題材に学習します。
		5th	Lesson6~Lesson8	到達目標の1~5について、全Lessonを題材に学習します。
		6th	Lesson6~Lesson8	到達目標の1~5について、全Lessonを題材に学習します。
		7th	Lesson6~Lesson8	到達目標の1~5について、全Lessonを題材に学習します。
		8th	[後期中間試験]	
	4th Quarter	9th	Lesson9~Lesson10	到達目標の1~5について、全Lessonを題材に学習します。
		10th	Lesson9~Lesson10	到達目標の1~5について、全Lessonを題材に学習します。
		11th	Lesson9~Lesson10	到達目標の1~5について、全Lessonを題材に学習します。
		12th	Lesson9~Lesson10	到達目標の1~5について、全Lessonを題材に学習します。
		13th	Lesson9~Lesson10	到達目標の1~5について、全Lessonを題材に学習します。
		14th	Lesson9~Lesson10	到達目標の1~5について、全Lessonを題材に学習します。
		15th	[後期末試験]	
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	60	0	0	0	25	15	100
Basic Proficiency	60	0	0	0	25	15	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2013		Course Title	保健	
Course Information							
Course Code	0003			Course Category	General / Elective		
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 1		
Department	Liberal Arts and Sciences			Student Grade	1st		
Term	First Semester			Classes per Week	2		
Textbook and/or Teaching Materials	現代高等保健体育、大修館書店 /なし						
Instructor							
Course Objectives							
1. 生活習慣病や感染症、薬物乱用、交通安全などの現代の健康問題とその対策について説明できる。 2. 思春期の健康に関すること、健康を支えている保健・医療の仕組みについて説明し活用できる。 3. 環境汚染による健康被害を理解し、環境保護について説明できる。							
Rubric							
	Ideal Level			Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1				生活習慣病や感染症、薬物乱用、交通安全などの現代の健康問題とその対策について説明できる。			
Achievement 2				思春期の健康に関すること、健康を支えている保健・医療の仕組みについて説明し活用できる。			
Achievement 3				環境汚染による健康被害を理解し、環境保護について説明できる。			
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline	人間が成長発達しながら生きていくことを理解し、生活習慣病の知識を身につけ生涯を通じて健康を保持増進できる能力を養う。						
Style							
Notice	生涯を通じて健康生活を保持促進するためには、健康についての知識が欠かせません。健康についての知識を高め、現代社会を生き抜く知恵を学んでください。						
Course Plan							
			Theme		Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	生活習慣病とその予防		生活習慣病について説明でき、より良い生活習慣の重要性を認識できる。		
		2nd	食事・運動・休養と健康		健康的な食生活、健康のための運動、より良い休養について説明できる。		
		3rd	喫煙・飲酒と健康		喫煙や飲酒を他人事でなく自分たちに		
		4th	薬物乱用と健康		薬物乱用が心身の健康に及ぼす悪影響を説明できる。		
		5th	感染症とその予防		性感染症やエイズについて基礎知識を学び予防対策について説明できる。		
		6th	交通事故の現状とその要因		交通事故の現状と要因について説明できる。		
		7th	応急手当と心肺蘇生法		応急手当や心肺蘇生法、熱中症対策についての基本的な手順を説明できる。		
		8th	中間試験				
	2nd Quarter	9th	思春期と健康		思春期の特徴が説明でき、異性を尊重する態度の必要性について説明できる。		
		10th	結婚生活と健康		健康的な結婚生活、受精・妊娠・出産の過程を理解し、説明できる。		
		11th	家族計画と人工妊娠中絶		家屋計画の意義や方法について理解し、説明できる。		
		12th	医療制度・医療品と健康		さまざまな医療機関や医療費が支払われる仕組みについて説明できる。		
		13th	環境汚染と健康		大気汚染、水質汚濁、土壌汚染と健康被害について説明できる。		
		14th	環境衛生活動のしくみ		ゴミ処理と上下水道の整備の現状を理解し、問題点や対策について説明できる。		
		15th	食品衛生活動のしくみ		食品の安全を守るために行政や生産者が果たす役割について説明できる。		
		16th					
Evaluation Method and Weight (%)							
	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	80	0	0	0	20	0	100
Basic Proficiency	80	0	0	0	20	0	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2013		Course Title	倫理
Course Information						
Course Code		0007		Course Category	General / Compulsory	
Class Format		Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department		Liberal Arts and Sciences		Student Grade	1st	
Term		Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials		高等学校倫理(第一学習社)/講義中に、適宜、紹介します。				
Instructor		Fujii Taketo				
Course Objectives						
1. 日本とは異なった外国文化等、倫理・思想に関する基礎的な知識について説明できる。 2. 「ものづくり」に関する調査を通して、技術者と倫理との関係について基礎的な内容を説明できる。						
Rubric						
		Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level
Achievement 1		倫理・思想に関する基礎的な知識について詳細に説明できる。		倫理・思想に関する基礎的な知識について、その概要を説明できる。		倫理・思想に関する基礎的な知識について、十分に説明できない。
Achievement 2		調査レポートの論旨が明快で、その内容について詳細に説明できる。		調査レポートがまとまっており、その内容について十分に説明できる。		調査レポートの論旨が明快でなく、その内容について十分に説明できない。
Achievement 3						
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline		我々人間は社会の中で生活している関係上、自己実現を果たしながら、なおかつ他者とうまく折り合いをつけてゆく必要があります。自己と他者との間の、共感できる点や異質な点について自分なりに考えるところに「倫理」が生まれます。本講義では、自己と他者との関係について自分で考えるための材料を提供してゆきたいと思います。また、「ものづくり」に関する調査を通して、技術者としての基本的倫理観について考えてもらいたいと思います。				
Style						
Notice		1.成績評価とも関連しますが、講義で述べたことについて定期試験・中間試験で確認する方針なので、「講義をしっかり聴く」ことを心がけてほしいと思います。 2.「ものづくり」に関する調査は、前期・後期にそれぞれ実施します（時期は適宜）。				
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	「倫理」とは？	本来の「倫理」について、説明できる。		
		2nd	ギリシアの思想	自然哲学者・ソクラテスらの倫理観について、その概要を説明できる。		
		3rd	ギリシアの思想	自然哲学者・ソクラテスらの倫理観について、その概要を説明できる。		
		4th	ギリシアの思想	自然哲学者・ソクラテスらの倫理観について、その概要を説明できる。		
		5th	ギリシアの思想	プラトン・アリストテレスらの倫理観について、その概要を説明できる。		
		6th	ギリシアの思想	プラトン・アリストテレスらの倫理観について、その概要を説明できる。		
		7th	ギリシアの思想	プラトン・アリストテレスらの倫理観について、その概要を説明できる。		
		8th	【前期中間試験】			
	2nd Quarter	9th	キリスト教	ユダヤ教と現代史との関係について、その概要を説明できる。		
		10th	キリスト教	ユダヤ教と現代史との関係について、その概要を説明できる。		
		11th	キリスト教	イエスの倫理観の概要について説明できる。		
		12th	キリスト教	イエスの倫理観の概要について説明できる。		
		13th	「ものづくり」に関する調査1	調査を通して、技術者と倫理とについて、自分の考えをまとめて表現できる。		
		14th	「ものづくり」に関する調査1	調査を通して、技術者と倫理とについて、自分の考えをまとめて表現できる。		
		15th	「ものづくり」に関する調査1	調査を通して、技術者と倫理とについて、自分の考えをまとめて表現できる。		
		16th				
2nd Semester	3rd Quarter	1st	イスラム教	イスラム文化と現代の関係について、その概要を説明できる。		
		2nd	イスラム教	イスラム教の倫理観について、その概要を説明できる。		
		3rd	イスラム教	イスラム教の倫理観について、その概要を説明できる。		
		4th	インドの思想	インド人の思想の特徴について、その概要を説明できる。		
		5th	インドの思想	インド人の思想の特徴について、その概要を説明できる。		
		6th	インドの思想	ゴータマの思想について、その概要を説明できる。		

		7th	インドの思想	ゴータマの思想について、その概要を説明できる。
		8th	【後期中間試験】	
	4th Quarter	9th	中国の思想	儒家の倫理観（孔子の思想を含む）について、その概要を説明できる。
		10th	中国の思想	儒家の倫理観（孔子の思想を含む）について、その概要を説明できる。
		11th	中国の思想	道家の思想について、その概要を説明できる。
		12th	中国の思想	道家の思想について、その概要を説明できる。
		13th	「ものづくり」に関する調査2	調査を通して、技術者と倫理観とについて、自分の考えをまとめて表現できる。
		14th	「ものづくり」に関する調査2	調査を通して、技術者と倫理観とについて、自分の考えをまとめて表現できる。
		15th	「ものづくり」に関する調査2	調査を通して、技術者と倫理観とについて、自分の考えをまとめて表現できる。
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	70	0	0	0	30	0	100
Basic Proficiency	70	0	0	0	30	0	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0

Anan College		Year	2013		Course Title	理科総合
Course Information						
Course Code	0008			Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 4	
Department	Liberal Arts and Sciences			Student Grade	1st	
Term	Year-round			Classes per Week	4	
Textbook and/or Teaching Materials	総合物理1（数研）、科学基礎（第一学習者）、地学基礎（数研）、生物基礎（啓林館）					
Instructor	Hirayama Motoi					
Course Objectives						
1. 工学、自然科学で対象とする量や単位について、基本的な取り扱いができる。 2. 物理学の基礎事項について学び、ニュートンの3法則を用いた計算を行うことができる。 3. 身の回りにある物質やその変化・性質を理解するため、物質の構成などの基礎を理解できる。 4. 地球の表層や内部構造について理解し、プレート境界での地震活動について説明できる。 5. 生物の進化や多様性・生態系について理解するとともに、地球環境問題の原因や保全対策について説明できる。						
Rubric						
	Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1	工学、自然科学で対象とする量や単位について、原理を理解し、基本的な取り扱いができる。		工学、自然科学で対象とする量や単位について、基本的な取り扱いができる。		工学、自然科学で対象とする量や単位について、基本的な取り扱いができない。	
Achievement 2	物理学の基礎事項について説明でき、ニュートンの法則を用いた定式化および計算を行うことができる。		物理学の基礎事項について説明でき、ニュートンの法則を用いた初歩的な計算を行うことができる。		物理学の基礎事項について説明でき、ニュートンの法則を用いた初歩的な計算を行うことができない。	
Achievement 3	身の回りにある物質やその変化・性質を理解するため、物質の構成などを説明できる。		身の回りにある物質やその変化・性質を理解するため、物質の構成などの基礎を理解できる。		身の回りにある物質やその変化・性質を理解するため、物質の構成などの基礎を理解できない。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	理科の総合的学習を通じて、自然現象を系統的、論理的に考えていく能力を養い、広く自然現象を科学的に解明するための見方、考え方を身につける。物理・科学・生物・地学は工学を学ぶための極めて重要な基礎であり、多くの分野において科学技術の発展に欠かせない知識・素養を身につけることを目的とする。					
Style						
Notice						
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	有効数字	数値の取り扱い方を理解し、有効桁数を考慮した数値の計算ができる。		
		2nd	有効数字	数値の取り扱い方を理解し、有効桁数を考慮した数値の計算ができる。		
		3rd	数値と単位	数値の意味を理解し、種々の物理量に単位を付けることができる。		
		4th	物体の運動	物体の位置・速度・加速度の関係を定式化でき、それぞれの量を計算できる。		
		5th	物体の運動	物体の位置・速度・加速度の関係を定式化でき、それぞれの量を計算できる。		
		6th	物体の運動	物体の位置・速度・加速度の関係を定式化でき、それぞれの量を計算できる。		
		7th	運動の法則	運動方程式を立て、物体にかかる力や加速度を計算できる。		
		8th	運動の法則	運動方程式を立て、物体にかかる力や加速度を計算できる。		
	2nd Quarter	9th	運動の法則	運動方程式を立て、物体にかかる力や加速度を計算できる。		
		10th	運動の法則	運動方程式を立て、物体にかかる力や加速度を計算できる。		
		11th	運動の法則	運動方程式を立て、物体にかかる力や加速度を計算できる。		
		12th	運動の法則	運動方程式を立て、物体にかかる力や加速度を計算できる。		
		13th	運動の法則	運動方程式を立て、物体にかかる力や加速度を計算できる。		
		14th	宇宙と地球	地球の外観について理解し、地球表層や内部の地学的事象を説明できる。		
		15th	大気と海洋	地球の大気圏、水圏での基礎的な現象を説明できる。		
		16th				
2nd Semester	3rd Quarter	1st	科学と人間生活	科学が物質を対象とする科学であることが理解できる。		
		2nd	物質の構成	原子の構造及び電子配置と周期律との関係が理解でき、物質について微視的な見方ができる。		
		3rd	物質の構成	原子の構造及び電子配置と周期律との関係が理解でき、物質について微視的な見方ができる。		

		4th	物質の変化	科学反応の量的関係が理解でき、日常生活と関連付けて考察できる。
		5th	物質の変化	科学反応の量的関係が理解でき、日常生活と関連付けて考察できる。
		6th	物質の変化	科学反応の量的関係が理解でき、日常生活と関連付けて考察できる。
		7th	物質の変化	科学反応の量的関係が理解でき、日常生活と関連付けて考察できる。
		8th	物質の変化	科学反応の量的関係が理解でき、日常生活と関連付けて考察できる。
	4th Quarter	9th	物質の変化	科学反応の量的関係が理解でき、日常生活と関連付けて考察できる。
		10th	物質の変化	科学反応の量的関係が理解でき、日常生活と関連付けて考察できる。
		11th	生物進化と生物多様性	生物の構造を知り、進化や多様性について理解できる。
		12th	人間活動と地球環境の保全	生態系の構成要素とその関係について理解し、地球環境問題の原因と影響、保全対策について説明できる。
		13th	人間活動と地球環境の保全	生態系の構成要素とその関係について理解し、地球環境問題の原因と影響、保全対策について説明できる。
		14th	[定期試験および返却]	
		15th	[定期試験および返却]	
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	50	0	0	0	20	30	100
Basic Proficiency	40	0	0	0	20	0	60
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	10	0	0	0	0	30	40

Anan College		Year	2013		Course Title	英語A
Course Information						
Course Code	0009			Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture			Credits	School Credit: 2	
Department	Liberal Arts and Sciences			Student Grade	1st	
Term	Year-round			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	高校総合英語 Harvest 3rd Edition アプローチノート付、暗証例文付 鈴木希明 桐原書店/Sonic Reading Stage1 のとう修 桐原書店					
Instructor	Fujii Hiromi					
Course Objectives						
1. 教科書で学ぶ基本的な英文法の概念を理解できる。 2. 教科書で学ぶ基本的な英文法の知識を応用できる。 3. 文全体の意味を把握しながら、必要な情報を見つけることのできる速読力を身に着ける。 4. 教科書で学習した語彙・熟語を理解し、運用できる。						
Rubric						
	Ideal Level		Standard Level		Unacceptable Level	
Achievement 1	教科書などの教材で学習した文法を適切に文脈の中で理解し、説明できる。		教科書などの教材で学習した文法を適切に文脈の中で理解できる。		教科書などの教材で学習した文法を適切に文脈の中で理解することが困難である。	
Achievement 2	教科書などの教材で学習した文法知識を応用して、100語程度の英作文ができるようになる。		教科書などの教材で学習した文法知識を応用して、1文単位で簡単な英作文ができる容認ある。		教科書などの教材で学習した文法知識を応用することが困難である。	
Achievement 3	300語程度の英文を速読し、必要な情報を探しだし、要点をまとめることができる。		300語程度の英文を速読し、必要な情報を探しだせる。		300語程度の英文を速読し、必要な情報を探しだすことが困難である。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	英文法の理解を通じて英語基礎力を固め、英語の4技能（読む・聞く・書く・話す）を総合的に伸ばす。また、速読演習を通して読解力を向上させるとともに語彙力を増強させる。					
Style						
Notice	1. プリント類やノートを日頃からキチンと整理しておくこと。（専用ファイルを用意することが望ましい） 2. 授業には必ず辞書（電子辞書可）を持ってくること。 3. 提出物の期限は厳守すること。					
Course Plan						
			Theme		Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	オリエンテーション		シラバスの内容及び学習方法を理解する。	
		2nd	英語の語順		各文法項目の概念を理解する。	
		3rd	英語の語順		各文法項目の概念を理解する。	
		4th	時制		各文法項目の概念を理解する。	
		5th	時制		各文法項目の概念を理解する。	
		6th	Sonic Reading Stage1		英文速読を通して速読力を強化する。	
		7th	Sonic Reading Stage1		英文速読を通して速読力を強化する。	
		8th	前期中間試験			
	2nd Quarter	9th	完了形		各文法項目の概念を理解する。	
		10th	完了形		各文法項目の概念を理解する。	
		11th	助動詞		各文法項目の概念を理解する。	
		12th	助動詞		各文法項目の概念を理解する。	
		13th	Sonic Reading Stage1		英文速読を通して速読力を強化する。	
		14th	Sonic Reading Stage1		英文速読を通して速読力を強化する。	
		15th	前期末試験			
		16th				
2nd Semester	3rd Quarter	1st	受動態		各文法項目の概念を理解する。	
		2nd	受動態		各文法項目の概念を理解する。	
		3rd	不定詞		各文法項目の概念を理解する。	
		4th	不定詞		各文法項目の概念を理解する。	
		5th	Sonic Reading Stage1		英文速読を通して速読力を強化する。	
		6th	Sonic Reading Stage1		英文速読を通して速読力を強化する。	
		7th	後期中間試験			
		8th	動名詞		各文法項目の概念を理解する。	
	4th Quarter	9th	動名詞		各文法項目の概念を理解する。	
		10th	分詞		各文法項目の概念を理解する。	
		11th	分詞		各文法項目の概念を理解する。	
		12th	Sonic Reading Stage1		英文速読を通して速読力を強化する。	
		13th	Sonic Reading Stage1		英文速読を通して速読力を強化する。	
		14th	学年末試験			
		15th	答案返却			

		16th					
Evaluation Method and Weight (%)							
	Examination	Presentation	Mutual Evaluations between students	Behavior	Portfolio	Other	Total
Subtotal	60	0	0	0	20	20	100
Basic Proficiency	60	0	0	0	20	20	100
Specialized Proficiency	0	0	0	0	0	0	0
Cross Area Proficiency	0	0	0	0	0	0	0